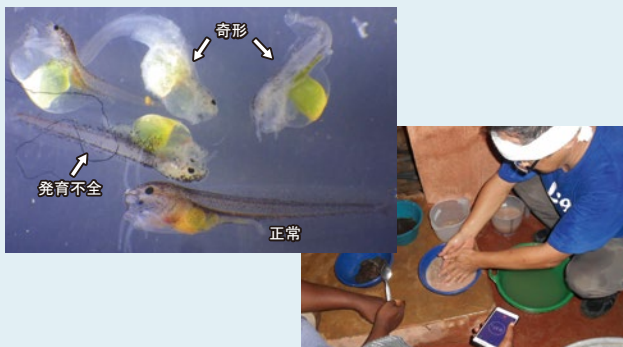


養殖技術の改善と開発



コンクリート水槽とハッパネットの組合せによるティラピアの交配と仔魚の収穫効率と生産性の改善



陶土懸濁液を利用した洗卵作業による受精卵の凝着防止と仔魚の正常な発育の促進

広域協力

PROVAC-2では西アフリカの内水面養殖開発に貢献するため、以下を対象国として広域協力を展開します。

- ◆ 技術交換重点国（カメルーン、トーゴ）
- ◆ 技術交換対象国（アンゴラ、ガボン、コンゴ共和国、コンゴ民主共和国）



プロジェクトの概要

プロジェクト名

内水面養殖普及プロジェクトフェーズ2

上位目標

ベナンにおける養殖生産量が増加する。

プロジェクト目標

農民間普及アプローチ及び養殖技術改善を通じてベナン全土における養殖生産が拡大する。

期待される成果

- 1：ベナンにおける養殖の現状に関する情報が取りまとめられる。
- 2：PROVAC-1対象7県において、農民間普及アプローチに関する活動が強化される。
- 3：PROVAC-1の対象地域外及び技術交換対象国において養殖技術及び農民間普及アプローチの適用可能性が確認される。
- 4：PROVAC-1対象7県において養殖生産技術が多様化し、養殖の生産性が向上する。
- 5：養殖農家の金融アクセスが改善される。

水産生産局

(Direction de la Production Halieutique)

電話番号: +(229) 21 37 73 47

農業畜産水産省 : <http://agriculture.gouv.bj/>

2017-2022



ベナン国

内水面養殖普及プロジェクト フェーズ2



農業畜産水産省



国際協力機構

プロジェクトの背景

ベナンでは、国民が摂取する動物性タンパクの53%を水産物が占めていますが、その多くは海外からの輸入に依存しています。このため、国内での水産物生産量の増大が食料安全保障上、また経常収支改善のための重要な課題となっています。

農業畜産水産省ではJICAの技術協力の下、「内水面養殖振興による村落開発計画調査(PACODER 2007年-2009年)」や「内水面養殖普及プロジェクト(PROVAC-1 2010年-2014年)」を実施し、PROVAC-1では内水面養殖に従事する養殖家数や生産量の増加に大きな成果を挙げることができました。

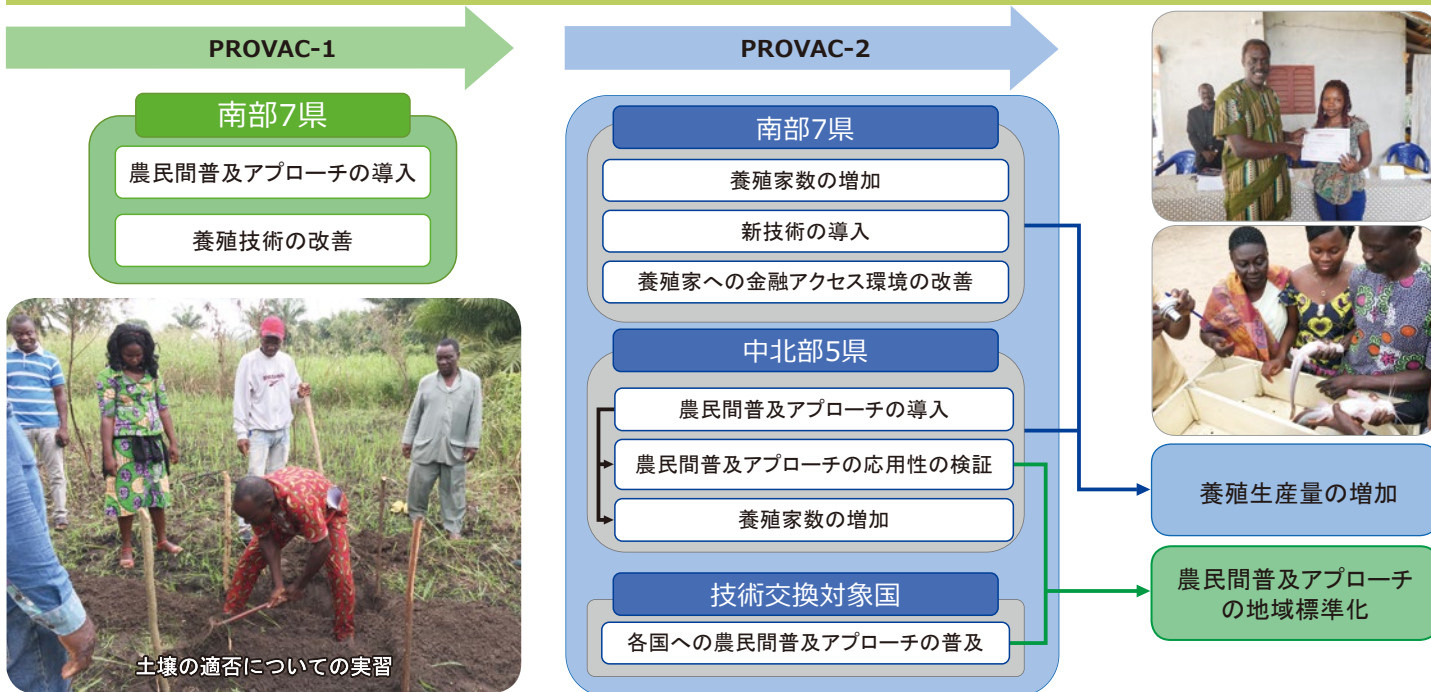
PROVAC-2では今後ベナンの内水面養殖をより一層の生産軌道に乗せるために、養殖ポテンシャルが高い南部地域において、PROVAC-1の成果をさらに発展させ生産量の増大を図るとともに、PROVAC-1では対象としなかった北部地域においても養殖普及を進めていきます。

ベナン政府は政府活動計画(PAG)において内水面養殖の振興を重点政策の一つとして掲げています。本プロジェクトPROVAC-2は他の養殖振興プロジェクトとも連携しながら、この政策目標達成に貢献するべく活動を展開していきます。



PROVAC-1対象地域 ■
PROVAC-2対象地域 ■ + ■

PROVAC-2の概念



一般養殖家の農民間研修の流れ



対象魚種



ティラピア
(*Oreochromis niloticus*)



ナマズ
(*Clarias gariepinus*)

養殖形態

